

公益社団法人 日本水産学会  
令和5年度第1回理事会議事録

1 開催された日時 令和5年3月27日（月）13時00分～15時36分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数17名、定足数9名

4 出席理事総数 11名

（Web会議システムによる出席）

東海 正、山下 洋、中田 薫（報告事項15時27分に退室）、廣野育生、佐野元彦、落合芳博、大嶋雄治（第1号議案審議中の13時14分に着席）、木村暢夫、栗田 豊、八木信行（報告事項14時52分に退室）、奥村卓二、澤田好史（報告事項15時28分に着席）、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

（Web会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義、野澤知世

6 出席幹事

（Web会議システムによる出席）

横田賢史、神尾道也、小糸智子、壁谷尚樹、加藤豪司、團 重樹

7 オブザーバー

（Web会議システムによる出席）

マーシーワイルダー（報告事項14時58分に一時退席、15時20分に再着席）、蒲原 聡、片山知史（第2号議案終了後13時23分に退席）

8 議 案

決議事項

第1号議案 「令和5年度秋季大会業務委託業者」の件

第2号議案 「令和5年度秋季大会募金目論見書」の件

第3号議案 「令和4年度事業報告」の件

第4号議案 「令和4年度貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録及び監査報告」の件

第5号議案 「議決権行使書」の件

第6号議案 「水産教育推進委員会委員の追加」の件

第7号議案 「水産学若手の会委員会委員の交代及び辞任」の件

第8号議案 「学会賞授賞規程の一部改正」の件

第9号議案 「令和6年度春季大会の日程、場所及び委員長」の件

第10号議案 「後援」の件

第11号議案 「入会承認」の件

報告事項

① 第6回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が、定足数の充足、及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「令和 5 年度秋季大会業務委託業者」の件

栗田東北支部担当理事から、令和 5 年度秋季大会業務委託業者の選定について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「令和 5 年度秋季大会募金目論見書」の件

栗田東北支部担当理事から、令和 5 年度秋季大会募金目論見書の原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 3 号議案 「令和 4 年度事業報告」の件（別紙 1）

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 4 号議案 「令和 4 年度貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録及び監査報告」の件（別紙 2）

佐野財務担当理事から、令和 4 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について原案の説明があった。出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 5 号議案 「議決権行使書」の件

東海会長から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 6 号議案 「水産教育推進委員会委員の追加」の件

廣野総務担当理事から、水産教育推進委員会委員の追加について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[選出] 清田雅史

第 7 号議案 「水産学若手の会委員会委員の交代及び辞任」の件

廣野総務担当理事から、水産学若手の会委員会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[辞任] 王 媛媛 [選出] 立山和樹

[辞任] 鈴木崇史

第 8 号議案 「学会賞授賞規程の一部改正」の件（別紙 3）

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 9 号議案 「令和 6 年度春季大会の日程、場所及び委員長」の件

廣野総務担当理事から、令和 6 年度春季大会の開催日程、場所、大会委員長について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

開催日程：令和 6 年 3 月 27 日～30 日

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）

大会委員長：遠藤英明（東京海洋大学）

#### 第10号議案「後援」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、次の後援を出席理事の賛成多数で可決した。ただし、負担金は支出しないこととなった。

##### ① 第20回国際有害有毒藻類学会

主催 国際有害有毒藻類学会

共催 日本プランクトン学会 他4団体

日程 令和5年11月5日～10日

場所 グランドプリンスホテル広島（広島県広島市）

希望 後援

負担金 なし

#### 第11号議案「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、資料に基づき入会希望者の説明があった。審議の結果、出席者全員一致で、入会を承認した。

本件について、以下の質疑があった。

山下理事「入会者の所属する支部と所属機関の住所が大きく違っている場合が見受けられるが、どういう理由か。」

東海会長「会員の主な連絡先の住所に基づいて支部に配属されることになっているため、所属機関の住所と異なる場合が出てくる。」

（報告事項）

##### ① 第6回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から、以下の報告があった。

###### 1) 水産・海洋科学研究連絡協議会

特になし

###### 2) (一社) 日本農学会 2023年度総会および日本農学賞選考会

令和5年2月11日に2023年度日本農学会総会が開催され、事業報告、収支報告、および監査結果の報告があった。また、日本農学賞選考会が開催され、マーシーワイルダー会員の日本農学賞の受賞が決定した旨の報告があった。

###### 3) 2023年度日本農学会シンポジウム

令和5年のシンポジウムについて「激動する社会と農学」というテーマで発表トピックの募集があり、「脱炭素社会に向けたブルーカーボンの役割と今後の展開(仮題)」という演題で国立研究開発法人水産研究・教育機構の堀正和会員の講演を推薦した旨の報告があった。

###### 4) 全国水産試験場長会 情報・話題提供資料

本学会と水産試験場の連携を図る目的で、令和5年2月に開催された全国水産試験場長会の資料である「全国水産試験場長会情報・話題提供資料（トピックス）」の提供を受けた旨の報告があった。本件について、以下の質疑があった。

蒲原オブザーバー「本資料は全国の試験場と水産研究・教育機構が情報共有を図る目的で取りまとめられたものである。日本水産学会との連携を構築する

ために、今回本資料を共有させていただいた。場長会の中でも段階的に情報共有を促進しながら連携を模索したとのコメントがあった。」

東海会長「水産の現場で問題となっている課題について、試験場と本学会が情報を共有して研究シーズと現場での問題解決につなげていくことが重要である。」

・庶務関係

廣野担当理事から以下の報告があった。

- 1) 令和4年度資格喪失者について
- 2) 以下の協賛2件について、「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の3)を適用して承認した。

① 第9回海中海底工学フォーラム・ZERO Hybrid

主 催 海中海底工学フォーラム・ZERO 運営委員会

協 賛 日本船舶海洋工学会 他7団体

日 程 令和5年4月21日

場 所 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール「ハリコット」  
(東京都目黒区)

希 望 協賛

負担金 なし

② 第30回海洋工学シンポジウム

主 催 日本海洋工学会, 日本船舶海洋工学会

協 賛 海洋音響学会 他31団体

日 程 令和5年9月7日・8日

場 所 日本大学駿河台キャンパス1号館 (東京都千代田区)

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

東海会長から、令和5年3月9日に企画広報委員会を開催し、日本水産学会誌の掲載記事の検討を行った旨の報告があった。

・財務関係

佐野担当理事から、令和4年度の会計決算と監事監査の対応を行った旨の報告があった。

・編集関係

落合担当理事から、令和5年3月29日に第1回編集委員会を開催する予定であるとの報告があった。

・学会賞関係

大嶋担当理事から、第1回学会賞選考委員会を令和5年3月13日に開催し、委員長と副委員長の選出を行うとともに前年度からの引継ぎを行った旨の報告があった。

・シンポジウム関係

有瀧担当理事から、令和5年度秋季大会のミニシンポジウムの企画案が2件提出されたこと、第1回シンポジウム企画委員会を7月に開催予定である旨の報告があった。

・出版関係

山下担当理事から、e-水産学シリーズに関して、以下の報告があった。

- ①「第5巻水産加工とタンパク質の科学」：まもなく刊行
- ②「第6巻水産物品質の非破壊計測技術（仮題）」：編者校閲中、今年9月刊行予定
- ③「防腐剤の変遷と生物影響（仮題）」：原稿執筆中、来年3月刊行予定
- ④「水産科学と水産政策（仮題）」：原稿執筆中、来年3月刊行予定

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事から、令和5年2月9日に令和4年度第2回水産技術誌監修委員会をオンライン開催したこと、令和5年度春季大会時に水産技術誌の見本と宣伝資料の配布を行う予定である旨の報告があった。

・国際交流関係

佐野担当理事から、令和5年度春季大会時においてSDGsに関する英語セッションを令和5年3月29日と30日に行うこと、来賓としてイギリス諸島水産学会、韓国水産科学会、およびアメリカ水産学会の会長が来日され、セッションの冒頭で挨拶される旨の報告があった。

国際交流関係について、以下の発言があった。

東海会長「イギリス諸島水産学会から学会大会への招待を受けている。学会大会のテーマを専門とする理事の派遣を調整したい。」

・水産教育関係

中田担当理事 特になし

・水産政策関係

八木担当理事から、水産政策委員会が企画しているe-水産学シリーズについて原稿の進捗状況等に関してメール審議を行った旨の報告があった。

・漁業・資源管理関係

東海会長から、令和5年度春季大会において漁業懇話会の委員会と講演会を開催する予定であるとの報告があった。

・水産利用関係

落合担当理事から、令和5年2月10日に第3回水産利用懇話会委員会と講演会を実施し、水産利用懇話会委員会では事業報告の確認と令和5年度の講演会のテーマについての意見交換を行うとともに、講演会では合計50名（このうちオンライン30名）の参加者があった旨の報告があった。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、令和5年3月28日に第1回水産増殖懇話会委員会とシンポジウムを開催予定である旨の報告があった。

・水圏環境関係

大嶋担当理事から、令和5年度春季大会で水産環境保全委員会主催のシンポジウムと第1回委員会を開催予定であるとの報告があった。

・男女共同参画関係

中田担当理事から、令和5年3月29日に春季大会においてジェンダー関係の無意識のバイアスについてのランチオンセミナーを開催する旨の報告があった。

・水産学若手の会関係

東海会長から、令和5年度春季大会で水産学若手の会主催のシンポジウムを開催予

定であること、発表を行わない学部学生の参加費無料招待について 69 名の応募があり、全員を招待することとなった旨の報告があった。

・社会連携関係

木村担当理事 特になし

・将来計画関係

山下担当理事 特になし

・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事 特になし

・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、令和 5 年 2 月 17 日に東北支部例会・大会を開催し、45 名の参加のもと講演会をハイブリッド方式で実施するとともに、総会では事業報告と事業計画が了承された旨の報告があった。

・関東支部、地域連携関係

八木担当理事から、令和 6 年度春季大会の日程、開催場所及び大会委員長についてメール審議を行った旨の報告があった。

・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事 特になし

・近畿支部、地域連携関係

澤田担当理事 特になし

・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事 特になし

・九州支部、地域連携関係

吉田担当理事 特になし

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事 特になし

・財務検討委員会（特別委員会）

佐野担当理事 特になし

② その他確認事項

(1) 委任状及び議決権行使書について

廣野総務担当理事から、決議事項で承認された委任状及び議決権行使書を正会員へ郵送するので、各支部や各機関等の会員から回答が得られるよう周知いただきたいとの要請があった。

(2) 理事会の開催日程について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和 5 年 4 月 22 日（土）13 時から Web 会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15 時 36 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和5年3月27日

公益社団法人 日本水産学会  
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事